

医薬品副作用被害救済制度の研修(制度説明) に関するアンケート調査集計結果

健康被害救済部

調査の概要

【調査目的】

医療現場における救済制度の認知率の把握、救済制度への意識調査、今後の講演活動の改善に向けた意見等の聴取、研修後の医療機関の意識や体制の変化などの把握を目的として実施

【調査対象】

- ①（当日調査）PMDA職員が医薬品副作用被害救済制度の講演を行った医療機関における研修受講者
- ②（3か月後調査）PMDA職員が医薬品副作用被害救済制度の講演を行った医療機関

【調査方法】

- ①（当日調査）研修受講者に対して研修実施直後にアンケート調査を行い、当日若しくは後日回収
- ②（3か月後調査）研修実施後3か月を目途に依頼し、回収

【回収状況】

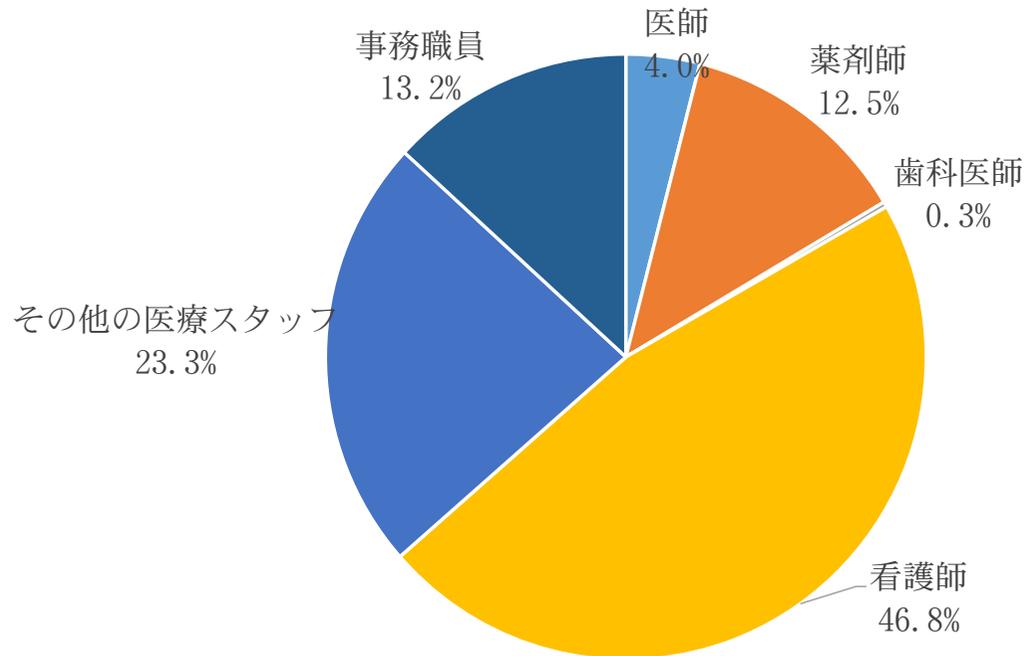
- ①（当日調査）平成27年7月17日から11月24日まで計8箇所の医療機関に協力を依頼し、全ての医療機関から回収
- ②（3か月後調査）平成27年度に講師を派遣した医療機関に協力を依頼（8箇所）し、6箇所の医療機関から回収

① 【当日調査】 アンケート集計結果（平成27年7月～11月）

①-1. あなたの職種をお答えください

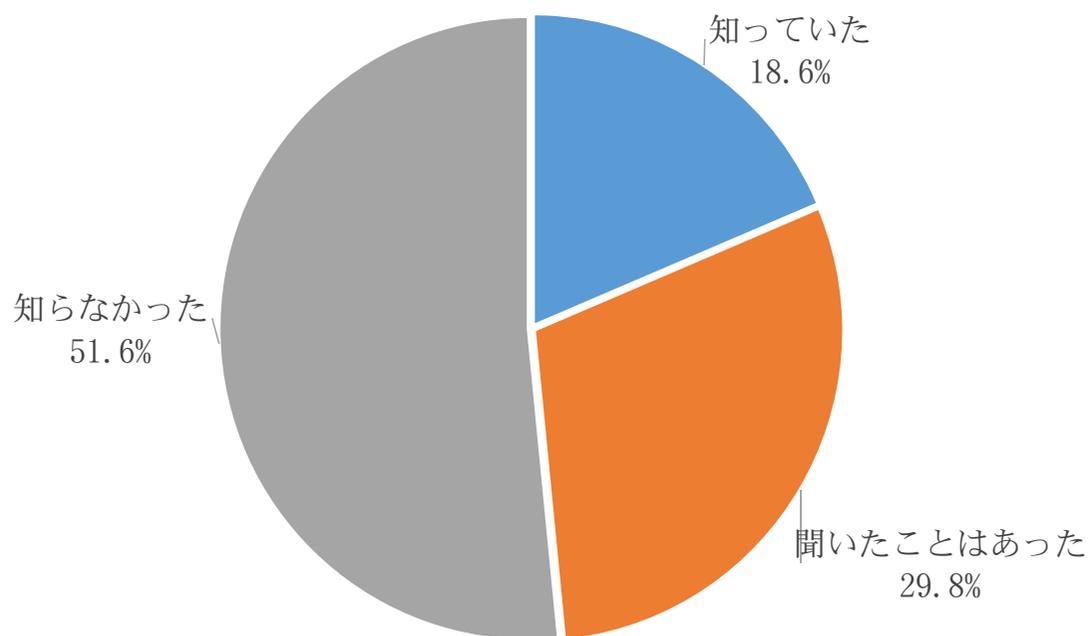
医師	薬剤師	歯科医師	看護師	その他の医療スタッフ※	事務職員	合計
28	88	2	330	164	93	705

※その他の医療スタッフ：検査技師、作業療法士、介護士など



①-2. 本日の講演を聴く前から救済制度をご存じでしたか
全体

知っていた	聞いたことはあった	知らなかった	合計
131	210	363	704



- 講演前における研修受講者全員の制度認知率は、
・「知っている」+「聞いたことがある」 48.4% (79.9%)
内訳: 「知っていた」 18.6% (53.8%)
「聞いたことはあった」 29.8% (26.1%)

※()書きは平成26年度認知度調査結果
で、医療関係者向け認知度調査(対象者:医師、薬剤師、歯科医師、
看護師)と比べ、認知率は低い数値を示した

- 医療関係者向け認知度調査の対象としていない「その他の医療スタッフ」
及び「事務職員」を除くと、「知っていた」、「聞いたことはあった」は約58%

①-2. 本日の講演を聴く前から救済制度をご存じでしたか（職種別）

【医師】

知っていた	聞いたことはあった	知らなかった
11	11	6

合計
28

【薬剤師】

知っていた	聞いたことはあった	知らなかった
75	12	1

合計
88

【歯科医師】

知っていた	聞いたことはあった	知らなかった
0	1	1

合計
2

【看護師】

知っていた	聞いたことはあった	知らなかった
23	125	181

合計
329

【その他の医療スタッフ】

知っていた	聞いたことはあった	知らなかった
14	29	121

合計
164

【事務職員】

知っていた	聞いたことはあった	知らなかった
8	32	53

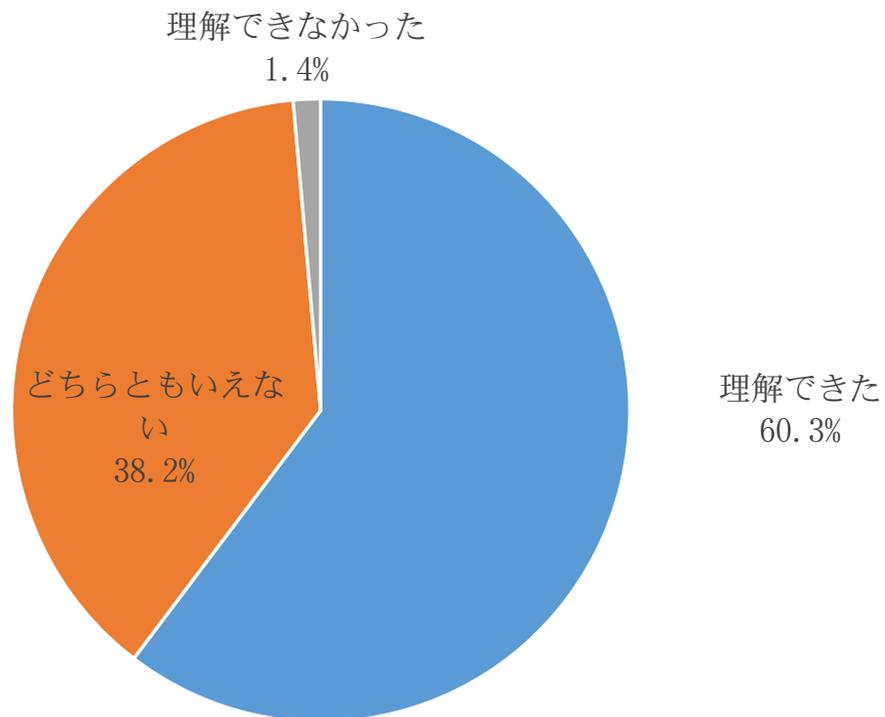
合計
93

- 講演前における医師の制度認知率は、
・「知っている」+「聞いたことがある」 78.6%(88.1%)
内訳:「知っていた」 39.3%(56.2%)
「聞いたことはあった」 39.3%(31.9%)
- 講演前における薬剤師の制度認知率は、
・「知っている」+「聞いたことがある」 98.8%(99.6%)
内訳:「知っていた」 85.2%(92.7%)
「聞いたことはあった」 13.6%(6.9%)
- 講演前における歯科医師の制度認知率は、
・「知っている」+「聞いたことがある」 50.0%(78.1%)
内訳:「知っていた」 0.0%(42.1%)
「聞いたことはあった」 50.0%(36.0%)
- 講演前における看護師の制度認知率は、
・「知っている」+「聞いたことがある」 45.0%(55.1%)
内訳:「知っていた」 7.0%(19.9%)
「聞いたことはあった」 38.0%(35.2%)
- 講演前におけるその他の医療スタッフの制度認知率は、
・「知っている」+「聞いたことがある」 26.2%
内訳:「知っていた」 8.5%
「聞いたことはあった」 17.7%
- 講演前における事務職員の制度認知率は、
・「知っている」+「聞いたことがある」 43.0%
内訳:「知っていた」 8.6%
「聞いたことはあった」 34.4%

①-3. 本日の講演で救済制度の内容を理解していただきましたか

(1) 全体

理解できた	どちらともいえない	理解できなかった	合計
423	268	10	701



①-3. 本日の講演で救済制度の内容を理解していただきましたか（職種別）

【医師】

理解できた	どちらともいえない	理解できなかった
22	6	0

合計
28

【薬剤師】

理解できた	どちらともいえない	理解できなかった
83	5	0

合計
88

【歯科医師】

理解できた	どちらともいえない	理解できなかった
1	1	0

合計
2

【看護師】

理解できた	どちらともいえない	理解できなかった
177	143	7

合計
327

【その他の医療スタッフ】

理解できた	どちらともいえない	理解できなかった
76	88	1

合計
165

【事務職員】

理解できた	どちらともいえない	理解できなかった
64	25	2

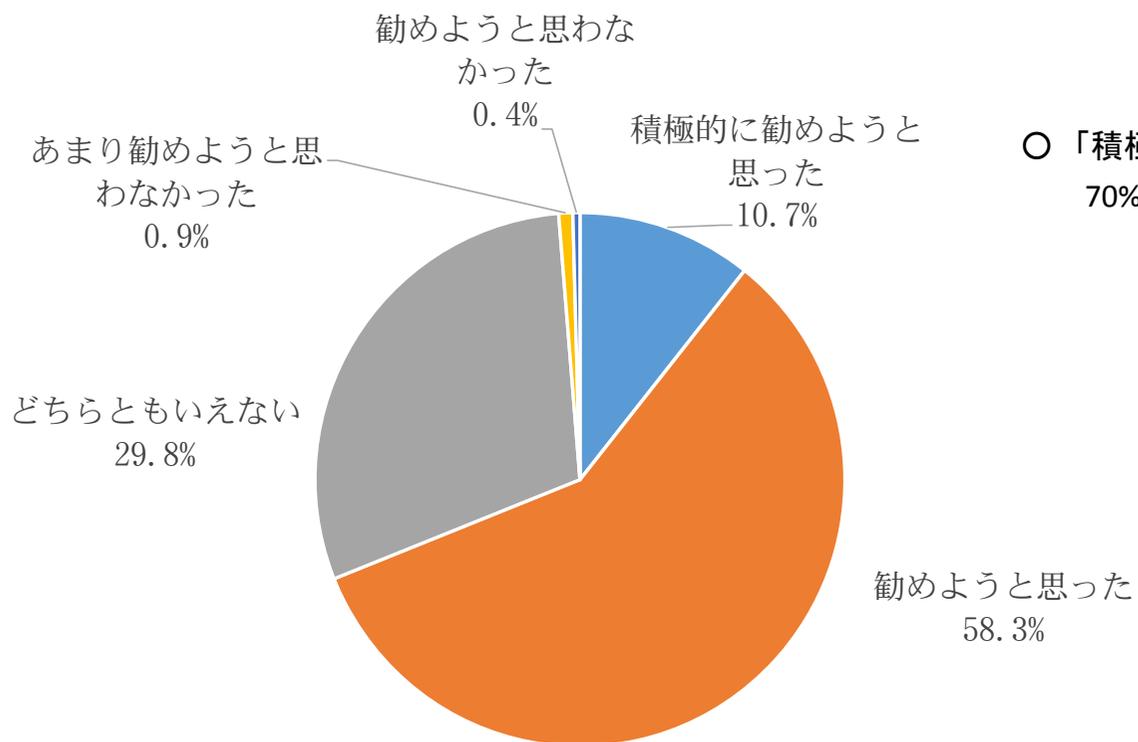
合計
91

- 講演後における医師の制度理解は、
「理解できた」78.6%
「どちらともいえない」21.4%
- 講演後における薬剤師の制度理解は、
「理解できた」94.3%
「どちらともいえない」5.7%
- 講演後における歯科医師の制度理解は、
「理解できた」50.0%
「どちらともいえない」50.0%
- 講演後における看護師の制度理解は、
「理解できた」54.1%
「どちらともいえない」43.7%
「理解できなかった」2.1%
- 講演後におけるその他の医療スタッフの制度理解は、
「理解できた」46.1%
「どちらともいえない」53.3%
「理解できなかった」0.6%
- 講演後における事務職員の制度理解は、
「理解できた」70.3%
「どちらともいえない」27.5%
「理解できなかった」2.2%

①-4. 講演を聴いて、副作用に遭われた患者さんに制度利用を勧めようと思いましたが

(1) 全体

積極的に勧めようと思った	勧めようと思った	どちらともいえない	あまり勧めようと思わなかった	勧めようと思わなかった	合計
75	409	209	6	3	702



○ 「積極的に勧めようと思った」、「勧めようと思った」といった肯定的な意見が70%ほどを占めた。

①-4. 講演を聴いて、副作用に遭われた患者さんに制度利用を勧めようと思いましたが（職種別）

【医師】

積極的に勧めようと思った	勧めようと思った	どちらともいえない	あまり勧めようと思わなかった	勧めようと思わなかった	合計
4	19	5	0	0	28

【薬剤師】

積極的に勧めようと思った	勧めようと思った	どちらともいえない	あまり勧めようと思わなかった	勧めようと思わなかった	合計
16	67	5	0	0	88

【歯科医師】

積極的に勧めようと思った	勧めようと思った	どちらともいえない	あまり勧めようと思わなかった	勧めようと思わなかった	合計
0	1	1	0	0	2

【看護師】

積極的に勧めようと思った	勧めようと思った	どちらともいえない	あまり勧めようと思わなかった	勧めようと思わなかった	合計
25	181	119	4	0	329

【その他の医療スタッフ】

積極的に勧めようと思った	勧めようと思った	どちらともいえない	あまり勧めようと思わなかった	勧めようと思わなかった	合計
21	92	47	2	2	164

【事務職員】

積極的に勧めようと思った	勧めようと思った	どちらともいえない	あまり勧めようと思わなかった	勧めようと思わなかった	合計
9	49	32	0	1	91

①-5. 講演についてご意見、ご要望があれば、何でも結構ですので記入してください

[医薬品副作用被害救済制度についての意見] (抜粋)

(推奨について)

- ・多数の薬剤が使用されているケースも多く、原因薬剤の特定が難しい。書類作成に多大な時間を費やすことになるため専門部署があると助かる。【医師】
- ・超高齢者は持病も多いため、勧めづらい。【薬剤師】
- ・医師の協力も必要なため、病院全体で取り組む必要がある。【看護師】
- ・患者さんに説明するのは難しい。医療安全や薬剤師さんよりすすめてもらうほうが良い。【歯科医師】

(対象外と判断される場合について)

- ・「使用目的または使用方法が適正とは認められない場合」とあるが、どのような場合に適正使用外と判断されることが多いのか知りたい。【医師】
- ・対象外と判断されることもあるので、その際の対応がむずかしそう。【医師】
- ・医師の制度関与度8%は比率として高く感じる。不支給の割合が高く感じる。【医師】

(救済制度についての意見)

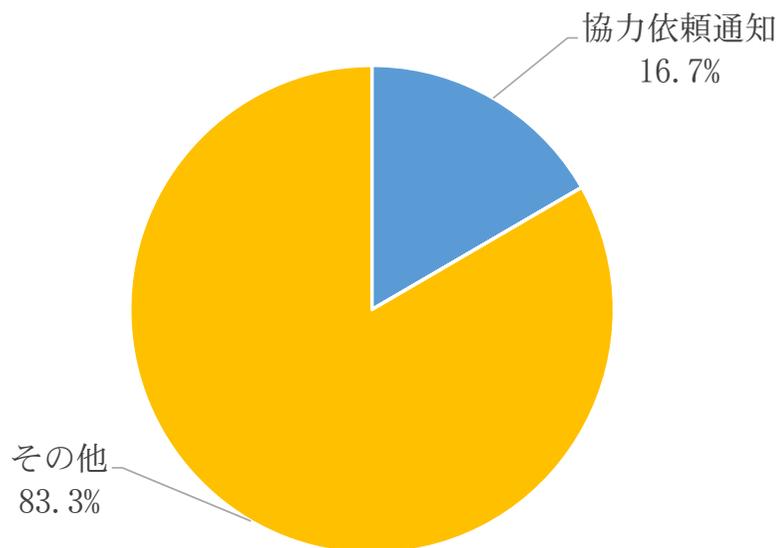
- ・副作用の判断を看護師がすることは不可、制度利用のシステムが未整備。【看護師】
- ・身近なところで広告等があればいい。【事務職員】

② 【3か月調査】 アンケート集計結果（平成27年4月～7月）

②-1. 救済制度に関する研修を行うきっかけは何でしたか。

協力依頼通知による	本部等からの指示による	他院からの紹介・口コミによる	その他※	合計
1	0	0	5	6

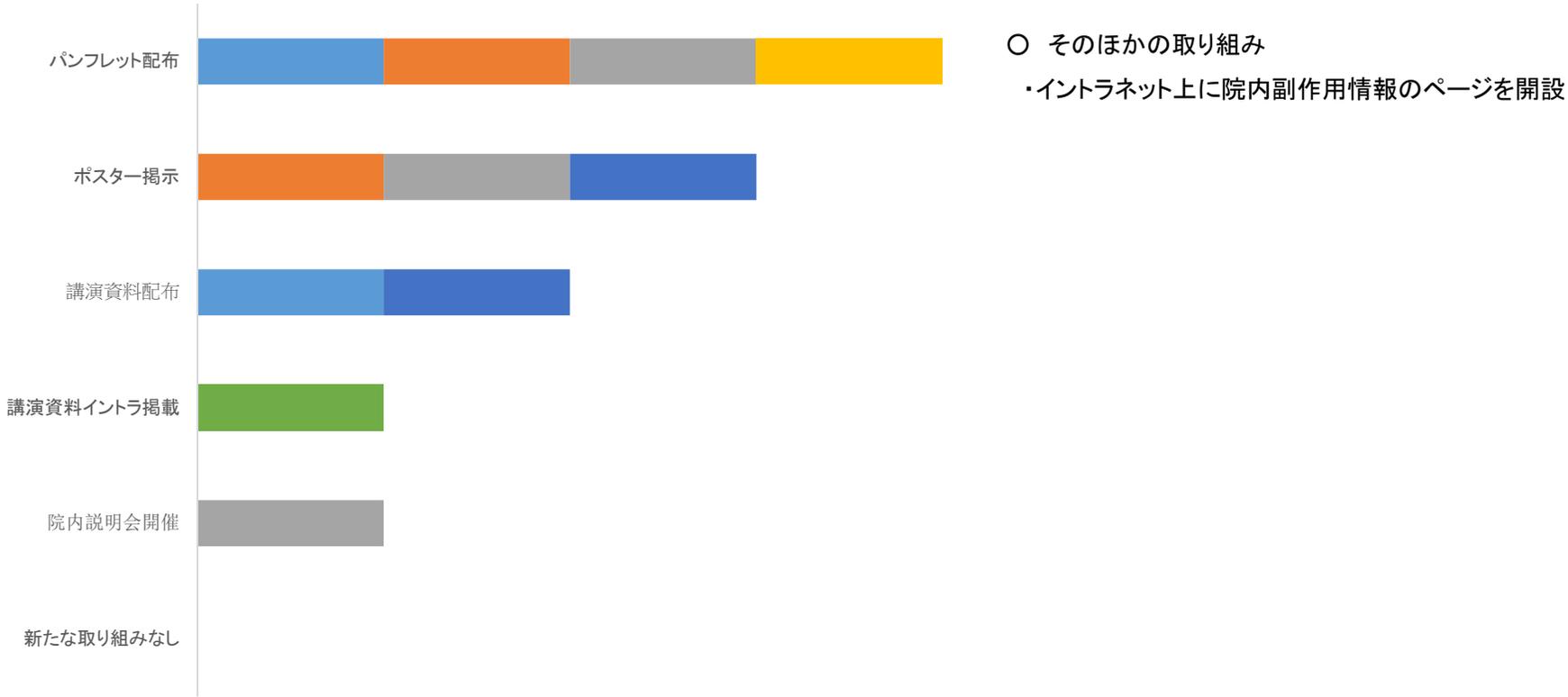
※その他：病院薬剤師会が主催する医薬品安全管理責任者講習会等で紹介があったため（4件）、職員の理解を深めるため（1件）



②-2. 研修実施後、研修内容や救済制度について、貴院内に周知する取り組みをされましたか（複数回答可）

パンフレットの配布	ポスター掲示	講演資料の配布	講演資料の イントラネット掲載	院内説明会等 の開催	新たな取り組み はしていない
4	3	2	1	1	0

複数回答計
11



②-3-1. 制度紹介について (研修前)

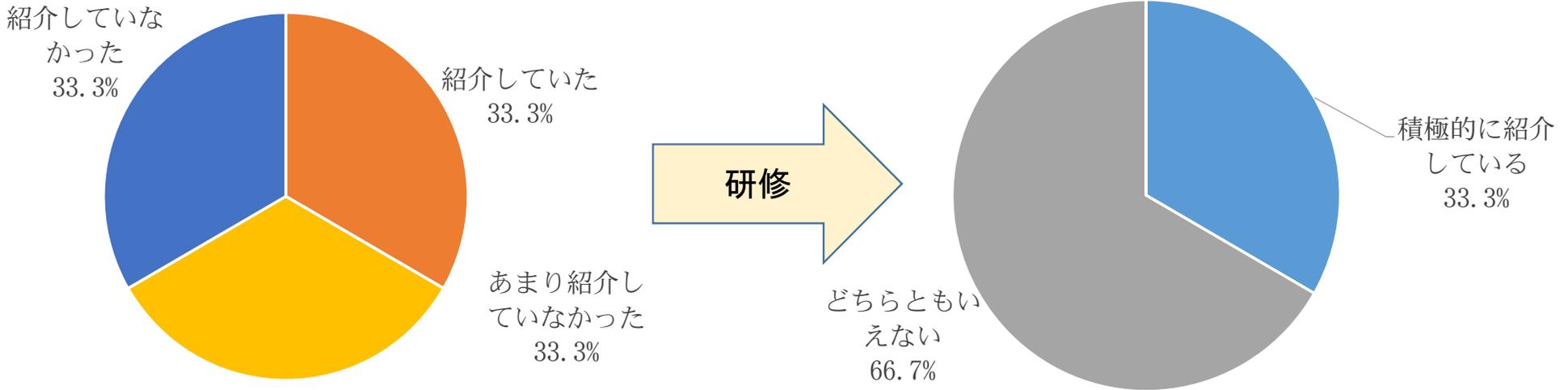
積極的に紹介していた	紹介していた	どちらとも言えない	あまり紹介していなかった	紹介していなかった
0	2	0	2	2

合計
6

②-3-2. 制度紹介について (研修後)

積極的に紹介している	紹介している	どちらとも言えない	あまり紹介していない	紹介していない
2	0	3	0	0

合計
5



②-4-1. 院内体制（研修前）

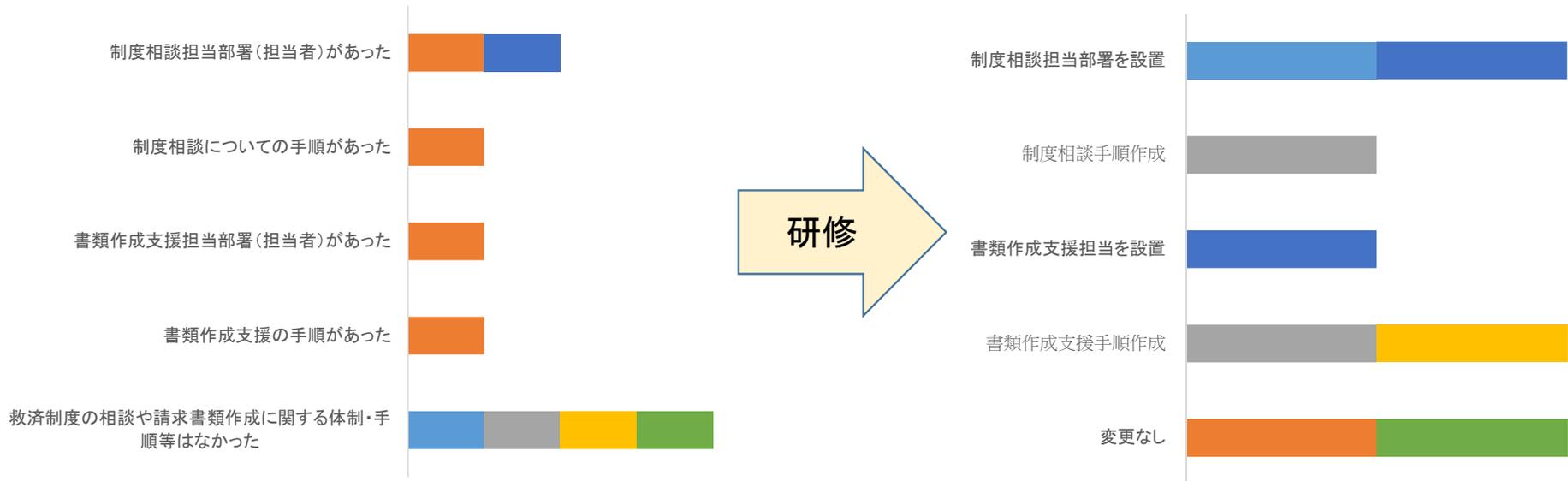
制度相談担当部署あり	制度相談手順あり	書類作成支援担当あり	書類作成支援手順あり	体制・手順等なし
2	1	1	1	4

複数回答計
9

②-4-2. 院内体制（研修後）

制度相談担当部署を設置	制度相談手順作成	書類作成支援担当を設置	書類作成支援手順作成	変更なし
2	1	1	2	2

複数回答計
8



②-5. 救済制度の利用促進について

多くの方の制度利用に繋げるためには、医療機関においてどのような工夫や仕組みがあればよいと思われますか（自由記述）

- ・ポスター掲示、パンフレット配布
- ・薬手帳の活用（救済制度のステッカーを添付）
- ・入院案内などに救済制度の案内を入れる
- ・地域連携室の活用
- ・前提である適正使用の徹底